

BLUE Open Studio HMI Runtime リファレンスマニュアル

BOS-HMIRT-JA_00
02/2022

法律情報

本ガイドで言及されているPro-faceブランドならびにシュナイダーエレクトリックSEおよびその子会社の商標は、シュナイダーエレクトリックSEまたはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。本ガイドおよびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし作成されています。本ガイドのいかなる部分も、いかなる形式や手段（電子的、機械的、複写、記録、またはその他）によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、複製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」本ガイドを調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

シュナイダーエレクトリックの製品および設備の設置、運転、メンテナンス、管理は必ず、適格な担当者が行ってください。

規格、仕様、および設計は随時変更されるため、本ガイドに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。

適用法により認められる範囲で、シュナイダーエレクトリックおよびその子会社は、本資料の情報コンテンツの誤りや記入漏れまたは本資料に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。

弊社は、責任ある、ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）を掲げた企業グループの一員として、非包摂的な用語を含む文書等を順次改訂しております。この作業が完了するまでの間、弊社が提供するコンテンツに、お客様が不適切と感じる可能性のある従来標準化されていた産業用語が含まれている場合がございますことをご了承ください。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 安全に関する使用上の注意 | 5 |
| 本書について | 6 |
| 本書の適用範囲 | 6 |
| 有効性に関する注意 | 6 |
| 登録商標 | 6 |
| 関連マニュアル | 6 |
| 製品関連情報 | 6 |
| サイバーセキュリティ | 7 |
| Hardware Configuration とは | 9 |
| 概要 | 9 |
| Hardware Configuration の機能 | 9 |
| INFORMATION | 9 |
| ETHERNET | 10 |
| COM | 10 |
| USB | 11 |
| DOWNLOAD | 11 |
| SITEMANAGER | 12 |
| SECURITY | 13 |
| SYSTEM | 13 |
| ファームウェアの更新 | 16 |
| Pro-face Connect を使用する場合の設定 | 17 |
| Edge Box HMI のセットアップ手順 | 18 |
| 概要 | 18 |
| USB ケーブルで転送する場合 | 18 |
| イーサネットで転送する場合 | 22 |
| 付録 | 27 |
| ステータス LED 表示 | 27 |
| オプション機器一覧 | 27 |
| プロジェクト設定時の注意 | 27 |

安全に関する使用上の注意

重要情報

本書をよくお読みいただき、装置の正しい取り扱いと機能を十分ご理解いただいた上で、設置、操作、保守を行ってください。本書および装置には以下の表示が使われています。これらは潜在的な危険を警告したり、手順を明確化あるいは簡素化する情報について注意を呼びかけるものです。



この記号が「危険」または「警告」安全ラベルに追加されると、電気的な危険が存在し、指示に従わないと人身傷害の危険があることを示します。



安全警告記号です。人的傷害の危険性があることを警告します。この記号の後に記載された安全に関する情報に従って、人的傷害や死亡の危険性を回避してください。

⚠ 危険

危険は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招きます。

⚠ 警告

警告は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招くおそれがあります。

⚠ 注意

注意は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、軽傷を招くおそれがあります。

注記

この表示は、指示に従わないと物的損害を負う可能性があることを示します。

以下の点に注意してください。

電気装置の設置、操作、サービス、および保守は有資格者のみが行うことができます。定められた範囲外の使用によって生じた結果については、シュナイダーエレクトリックは一切の責任を負いかねます。

有資格者とは、電気装置の構造および操作ならびに設置に関する技術と知識を持ち、関連する危険性を認識して回避するための安全トレーニングを受けた人を指します。

本書について

本書の適用範囲

このマニュアルでは、BLUE Open Studio の HMI Runtime がインストールされた (または HMI Runtime がインストールされる) 対象機器での設定や操作について説明しています。

有効性に関する注意

本書は本製品を対象として書かれています。

本書で説明する装置の技術的特性については、www.pro-face.com でオンラインでもご確認ください。

シュナイダーエレクトリックでは、本マニュアル内に記載された製品特性とオンラインページの記載内容が一致するよう務めていますが、継続的改善を目指す当社の方針に従い、情報をより明確かつ正確なものにするため内容を改訂させていただく場合があります。マニュアルとオンラインページの情報が一致していない場合は、オンラインページの情報を参照してください。

登録商標

Microsoft® と Windows® は米国およびその他の国の Microsoft Corporation における登録商標です。

本書に記載の製品名は、それぞれの権利者の登録商標である場合があります。

関連マニュアル

ハードウェアマニュアルやソフトウェアマニュアルなど、本製品に関連するマニュアルは、弊社ウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1085.html>

製品関連情報

GPL/LGPL ライセンス

This product partially uses the open source licensed under public license such as GNU General Public License (GPL), GNU Lesser General Public License (LGPL). As long as these open source, you have the right to get, modify and redistribute them.

WE PROVIDES THESE SOURCE CODE "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND AND ALL SUCH WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, RE HEREBY DISCLAIMED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS OR USEFULLNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE, ACCURACY, AVAILABILITY, QUALITY OF THE SOURCE CODE, PERFORMANCE OR NON-INFRINGEMENT.

There is no guarantee by the copyright for these as the open source and we do not provide nor is obligated to provide support for the usage of these source code packages, but we guarantee this product under the condition described in this script.

You can refer the following link about GPL/LGPL.

GPL: <https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.html>

LGPL: <https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティベストプラクティス

製品を保護し安全性を維持するために、サイバーセキュリティのベストプラクティスを実践することをお勧めします。記載の推奨事項を実践していただくことで、お客様のサイバーセキュリティリスクを減らすことが期待できます。ベストプラクティスについては、次の URL を参照してください。

<https://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1087.html>

Hardware Configuration とは

この章の内容

| | |
|---------------------------------|---|
| 概要 | 9 |
| Hardware Configuration の機能..... | 9 |

概要

BLUE Open Studio の HMI Runtime がインストールされた (または HMI Runtime がインストールされる) 対象機器では、**Hardware Configuration** で IP アドレスや内部時計など個々の機器に必要な設定を行います。

ログインパスワード

製品への不正アクセスのリスクを減らすために、初めて Hardware Configuration にログインする際にパスワードを設定してください。パスワードは次の要件を満たす必要があります。

| | |
|------|--|
| 文字数 | 半角 8 文字以上、64 文字以下 |
| 文字種類 | 以下のそれぞれの文字種類を少なくとも 1 つ使用 <ul style="list-style-type: none">アルファベットの大文字 (A ~ Z)アルファベットの小文字 (a ~ z)数字 (0 ~ 9)記号 (特殊文字): ! # - = _ . |

パスワードを忘れた場合、パスワードをリセットすることはできません。製品をご購入時の状態に戻したい場合は、弊社カスタマーケアセンターまでお問い合わせください。この場合、製品内のユーザーデータはすべて失われます。

Hardware Configuration の機能

Hardware Configuration の機能について説明します。

INFORMATION

本製品のシステムバージョン、ランタイムバージョン、IP アドレスなどが確認できます。また、システムエラーまたはランタイムエラーが発生した場合は、**ステータス**領域でエラー情報を確認できます。

Hardware Configuration

INFORMATION ETHERNET COM USB DOWNLOAD SITEMANAGER SECURITY SYSTEM

System Status

Status Runtime does not exist. Or, Waiting for download. Please download runtime.
System Version -----
Runtime Version -----
Project File -----

Ethernet 1

IP Mode Manual
IP Address 192.168.1.80 255.255.255.0
MACAddress 08:00:42:47:00:71

Ethernet 2

IP Mode Disabled
IP Address 0.0.0.0 0.0.0.0
MACAddress 08:00:42:47:00:71

ETHERNET

イーサネットに関する設定を行います。イーサネットで接続機器と通信する場合や、プロジェクトファイルをダウンロードするなどネットワーク上のパソコンを利用した機能を使用する場合に設定が必要です。

Hardware Configuration

INFORMATION ETHERNET COM USB DOWNLOAD SITEMANAGER SECURITY SYSTEM

Ethernet 1 Ethernet 2

IP Mode *
Manual

IP Address * Subnet Mask *
192.168.1.80 255.255.255.0

Default Gateway

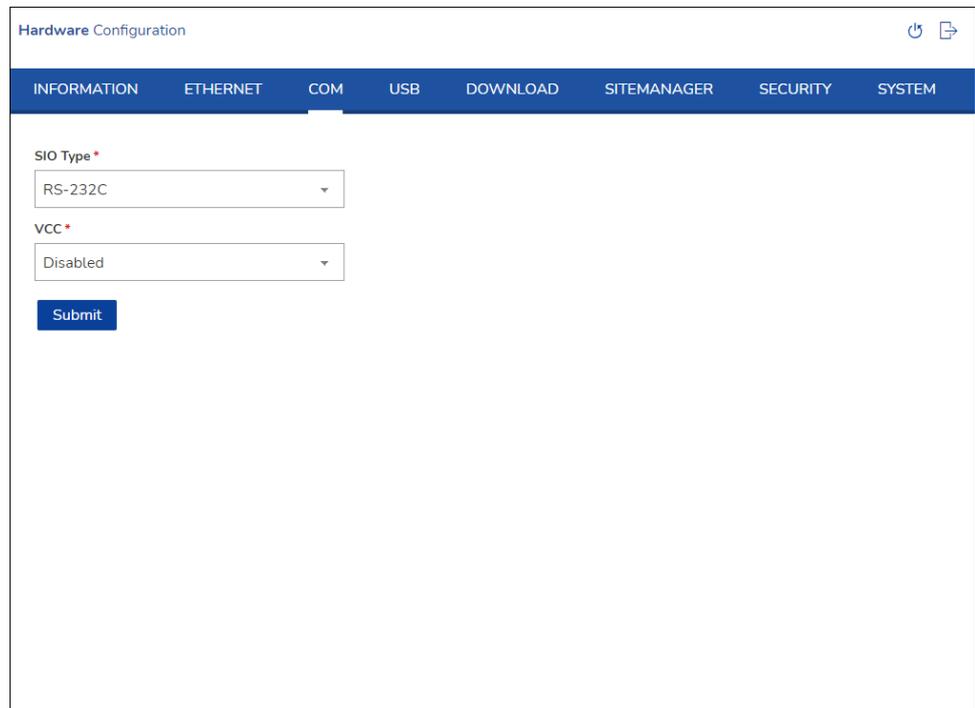
DNS Mode DNS Server
Manual

MAC Address
08:00:42:47:00:71

Submit

COM

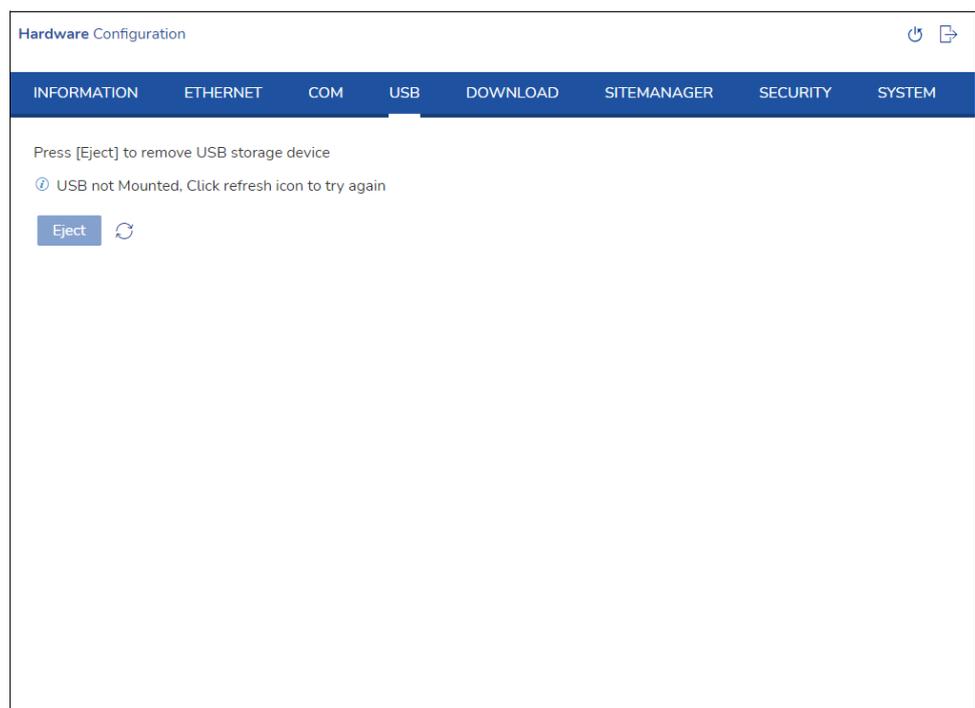
シリアルインターフェイスの通信方法を、RS-232C と RS-422/485 間で切り替えます。RS-232C で通信する場合は、VCC を有効にするか無効にするか選択できます。



The screenshot shows the 'Hardware Configuration' web interface. The 'COM' tab is selected in the top navigation bar. The 'SIO Type' dropdown menu is set to 'RS-232C', and the 'VCC' dropdown menu is set to 'Disabled'. A 'Submit' button is located below the dropdowns.

USB

本製品に USB 機器を接続している場合、ハードウェアの安全な取り外しができます。



The screenshot shows the 'Hardware Configuration' web interface with the 'USB' tab selected. The main content area displays the instruction 'Press [Eject] to remove USB storage device' and a status message 'USB not Mounted, Click refresh icon to try again'. Below this, there is an 'Eject' button and a refresh icon.

DOWNLOAD

本製品にプロジェクトファイルや HMI Runtime をダウンロードすることを許可します。通常、運転時は無効にしてください。

注記：

- プロジェクトファイルや HMI Runtime をダウンロードするときのみ有効にします。プロジェクトファイルのダウンロード方法については、「BLUE Open Studio Technical Reference Manual (Help Manual)」の「Remote Management」 – 「Download your project to the target device」を参照してください。
- プロジェクトファイルを初めて Edge Box HMI にダウンロードする場合は、以下を参照してください。
Edge Box HMI のセットアップ手順, 18 ページ

Hardware Configuration

INFORMATION ETHERNET COM USB **DOWNLOAD** SITEMANAGER SECURITY SYSTEM

Enable Project File Download

Submit

SITEMANAGER

別売りの Pro-face Connect を使用したシステムを構築する際に設定します。設定方法は以下を参照してください。

Pro-face Connect を使用する場合の設定, 17 ページ

Hardware Configuration

INFORMATION ETHERNET COM USB DOWNLOAD **SITEMANAGER** SECURITY SYSTEM

Enable Remote Management

SiteManager Embedded Version v6141_621096032 (arm)

GateManager Address

Domain Token

Appliance Name

Proxy Address

Proxy User

Proxy Password

Factory Reset | Submit

SECURITY

パスワードの変更を行います。前回のログイン情報を確認したり、その情報をダウンロードしたりすることもできます。ダウンロードしたセキュリティーデータファイルは、「log.csv」です。

注記：パスワードの設定条件については、ログインパスワード, 9 ページ を参照してください。

The screenshot shows the 'Hardware Configuration' web interface. The top navigation bar includes 'INFORMATION', 'ETHERNET', 'COM', 'USB', 'DOWNLOAD', 'SITEMANAGER', 'SECURITY', and 'SYSTEM'. The 'SECURITY' tab is active. The main content area is titled 'Change Password' and contains three input fields: 'Current Password *', 'New Password *', and 'Confirm Password *'. Below these fields is a 'Submit' button. Underneath is a 'Login Statistics' section with the following data:

| | |
|------------------------|------|
| Current Login | 4:00 |
| Previous Login | 0:01 |
| Number of failed login | 1 |

At the bottom of the 'Login Statistics' section is a 'Download Log Data' section with a 'Download' button.

SYSTEM

Date and Time タブで、製品の内部時計を設定します。NTP サーバーを設定することで時刻を同期させることもできます。

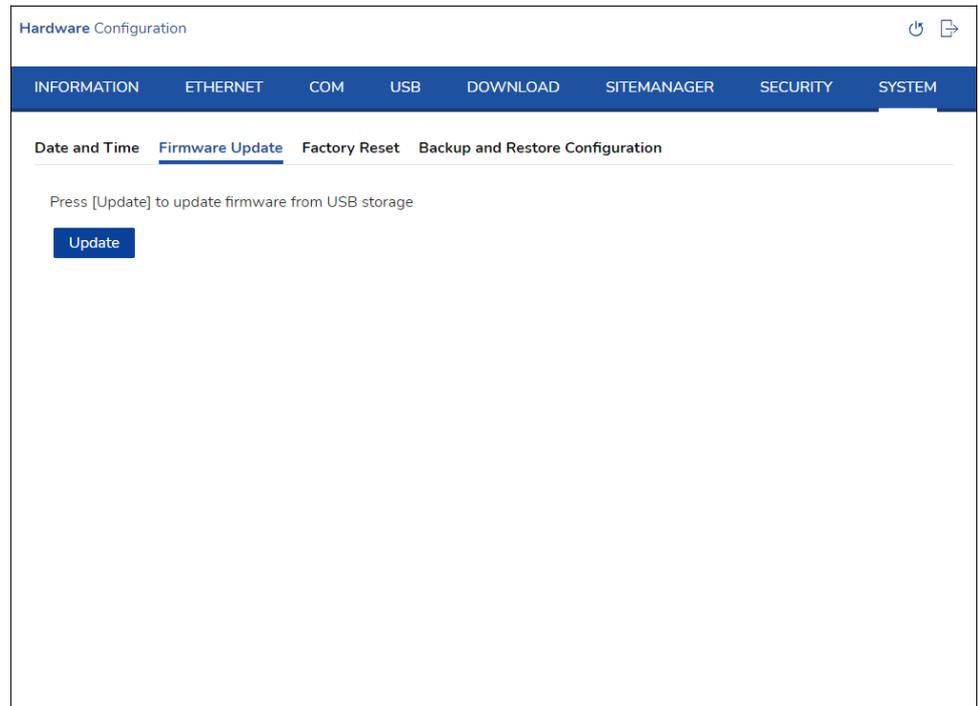
The screenshot shows the 'Hardware Configuration' web interface with the 'SYSTEM' tab active. The sub-tab 'Date and Time' is selected. The main content area contains the following configuration options:

- Date**: 10/20/2021 (with a calendar icon)
- Time**: 07:05:03 PM (with a clock icon)
- Time-zone**: (UTC+00:00) UTC (dropdown menu)
- Synchronized with NTP Server**:
- NTP Server**: (empty input field)

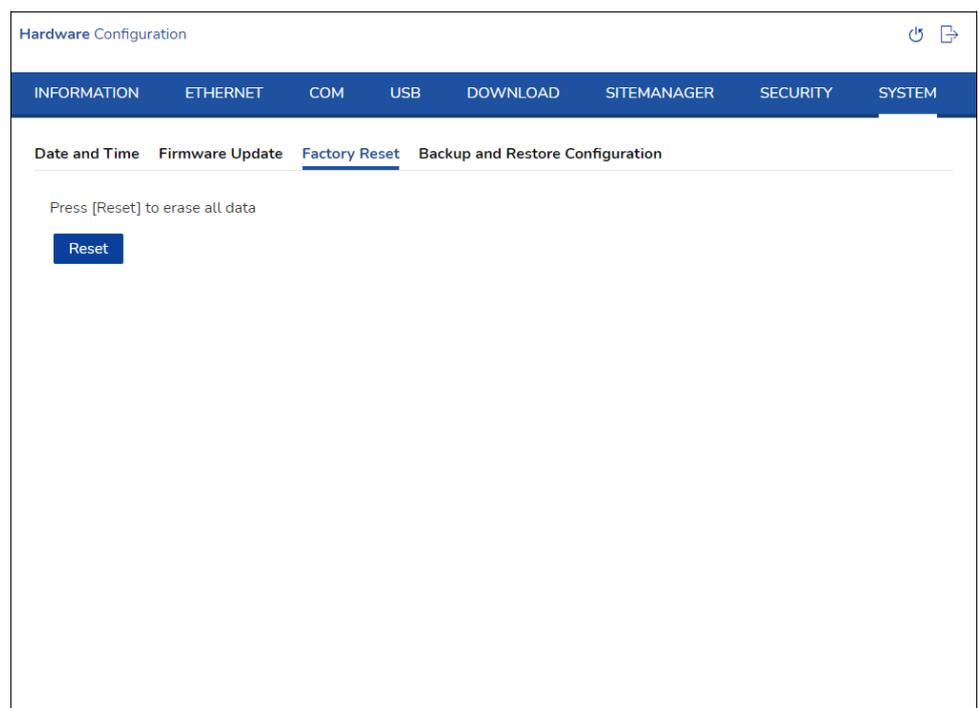
A 'Submit' button is located at the bottom of the configuration area.

Firmware Update タブで、ファームウェアの更新を行います。更新方法は以下を参照してください。

ファームウェアの更新, 16 ページ



Factory Reset タブで、本製品をご購入時の状態 (工場出荷時の状態) に戻すことができます。



Backup and Restore Configuration タブで、**Hardware Configuration** で設定した内容をバックアップすることができます。ダウンロードしたバックアップデータファイルは、「config.bin」です。そのバックアップデータを使用して **Hardware Configuration** の設定を復元することができます。ただし、次の設定はバックアップおよび復元されません。

- **SECURITY** タブ
- **SYSTEM** タブにある **Date and Time** タブ

Hardware Configuration  

INFORMATION ETHERNET COM USB DOWNLOAD SITEMANAGER SECURITY SYSTEM

Date and Time Firmware Update Factory Reset Backup and Restore Configuration

Press [Download] to backup configuration

[Download](#)

Press [Upload] to restore configuration

Select backup file for restoration

[Choose File](#) No file chosen

[Upload](#)

ファームウェアの更新

システムを最新の状態に保つため、ファームウェアを定期的に更新することをお勧めします。

1. 弊社 Web サイトからファームウェアをダウンロードし、USB ストレージに保存します。
<https://www.proface.co.jp>
2. USB ストレージのルートフォルダーに BOOTOS13.SYS と BOOTLD13.SYS のファイルがあることを確認の上、USB ストレージを本製品に接続します。
3. **Hardware Configuration** にログインします。
4. **SYSTEM** タブを開きます。**Firmware Update** タブで、**Update** をクリックします。

Pro-face Connect を使用する場合の設定

パソコンやタブレット端末を使用して、遠隔地に設置されている HMI 製品を表示 / 操作するには、外部からの不正なアクセスを防ぐことができるシステムの構築が求められます。別売りの Pro-face Connect を導入することで、安全なリモートアクセスのシステムを構築できます。

Pro-face Connect は、現場の弊社製品 (SiteManager)、オフィスのパソコンやタブレット端末 (LinkManager)、それらを繋ぐためのサーバー (GateManager) で構成されます。

ここでは **SiteManager** の設定方法について説明します。

1. **Hardware Configuration** にログインします。
2. **SITEMANAGER** タブを開き、**Enable Remote Management** のチェックボックスにチェックを入れます。
3. アクセスする **GateManager** の IP アドレス、および **GateManager** に接続するためのパスワード (トークン) を入力します。これらの情報は **GateManager** から受信した **GateManager X.509** の証明書付き電子メールの下部に記載されています。

4. **Appliance Name** に、対象機器名 (**SiteManager** の名前) を入力します。ここで設定した名前が **GateManager** 上に表示されます。
5. 必要に応じてプロキシサーバーの IP アドレス、アカウント名、パスワードを入力します。プロキシサーバーの情報については、ネットワーク管理者にご確認ください。
6. **Submit** をクリックします。
7. 画面右上にある **Reboot** アイコンをクリックします。本製品が再起動されます。

注記：

- Pro-face Connect の詳細については、弊社ウェブサイトを参照してください。
<https://www.proface.co.jp>
- 登録した **SiteManager** を **GateManager** 上から削除したときは、**SiteManager** の初期化およびライセンスの再割り当てが必要です。**Reset to Default** をクリックして、**GateManager** 管理者にライセンスを再度割り当てるように依頼してください。(同じライセンスは使用できません。ライセンスを再度割り当てるには 24 時間かかります。)

Edge Box HMI のセットアップ手順

この章の内容

| | |
|-----------------------|----|
| 概要 | 18 |
| USB ケーブルで転送する場合 | 18 |
| イーサネットで転送する場合 | 22 |

概要

Edge Box HMI (型式: PFXSTM6B00DIOT) には、HMI Runtime ライセンス (500 タグに対応) とモバイルアクセスライセンスが付帯されています。ライセンスを有効化する必要はありません。Edge Box HMI にはディスプレイがないため、モバイルアクセスの機能を使用してパソコン (開発環境) の Web ブラウザーから Edge Box HMI にアクセスします。

開発環境には、HTML5 に対応したブラウザのインストールが必要です。(推奨: Google Chrome)

注記:

- モバイルアクセスの機能の詳細については、「BLUE Open Studio Technical Reference Manual (Help Manual)」の「Thin Client and Mobile Access」 - 「Mobile Access」を参照してください。
- タグの数を増加、または Edge Box HMI に複数のパソコンからアクセスしたい場合は、弊社ウェブサイトでライセンス情報を確認してください。
- HMI Runtime で利用できる機能には制限があります。詳細は、「BLUE Open Studio Technical Reference Manual (Help Manual)」の「HMI Runtime」 - 「Supported Features」を参照してください。

事前準備

プロジェクトを Edge Box HMI で使用するためには、BLUE Open Studio で以下の設定が必要です。

- リボンのプロジェクトタブのウェブグループで、**モバイルアクセス**をクリックします。**Enable CGI** のチェックボックスにチェックを入れて設定を保存します。
- すべての画面を作成 / 編集したあと、**ファイルメニューの HTML 形式で全て保存**を選択します。プロジェクト内のすべての画面および画面グループが HTML 形式で保存されます。

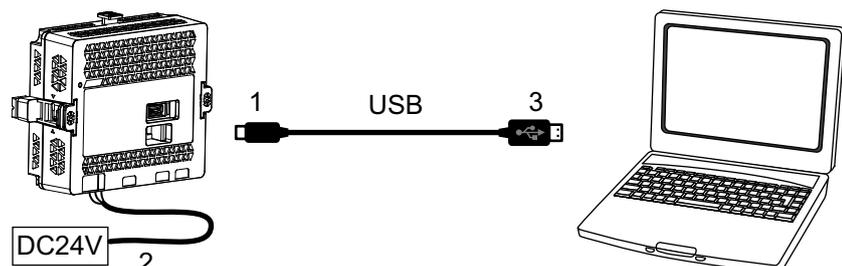
Edge Box HMI を対象機器としてご使用になる場合のセットアップ手順を説明します。

USB ケーブルで転送する場合、18 ページ

イーサネットで転送する場合、22 ページ

USB ケーブルで転送する場合

この手順は、Edge Box HMI に初めてプロジェクトを転送するユーザーを対象としています。



1. USB 転送ケーブルを Edge Box HMI に接続します。
2. Edge Box HMI の電源を入れます。ステータス LED が橙色に点滅します。
3. パソコン (開発環境) と Edge Box HMI を USB 転送ケーブルで接続します。

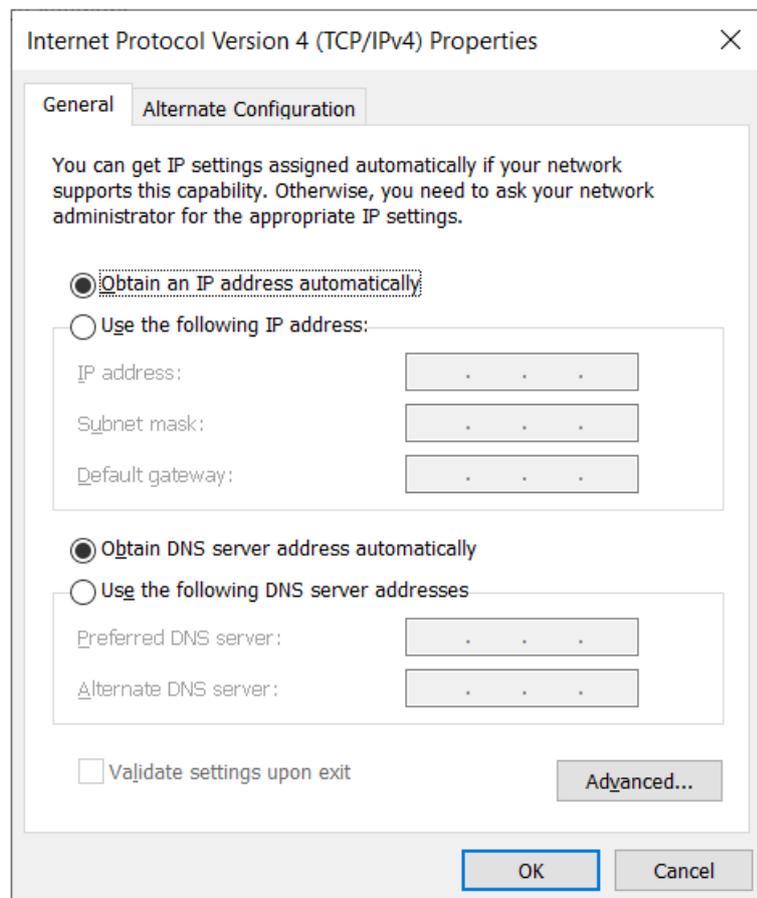
注記： Edge Box HMI の USB デバイスポートとパソコンを接続すると、Edge Box HMI はイーサネットデバイスとして認識されます。(デバイス名: Remote NDIS Compatible Device)

4. パソコンの IP アドレスが自動取得に設定されているかを確認します。

注記： Windows 10 をご使用の場合、IP アドレスの設定の確認方法は次のとおりです。

スタートメニューから**設定 > ネットワークとインターネット > アダプターのオプションを変更する**の順にクリックします。

使用するイーサネットを選択し、右クリックして**プロパティ**を選択します。**インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)** のプロパティで、**IP アドレスを自動的に取得する**が選択されていることを確認します。



5. ブラウザーを開き、アドレスバーに Edge Box HMI の IP アドレス (https://169.254.100.100) を入力します。「この接続ではプライバシーが保護されません」のメッセージが表示されます。継続するには、**詳細設定**をクリックして、**(IP アドレス) にアクセスする**をクリックしてください。

6. **Hardware Configuration** が表示されます。ログインパスワードを設定し **Submit** をクリックします。

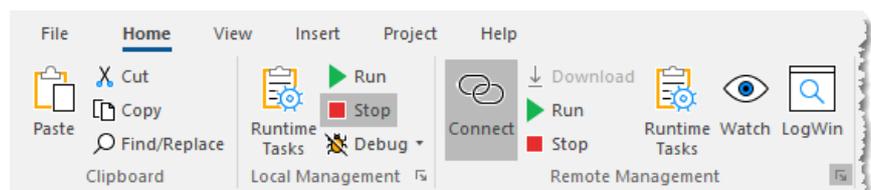
注記：

- ユーザー名は「Admins」です。変更はできません。
- パスワードは次の要件を満たす必要があります。

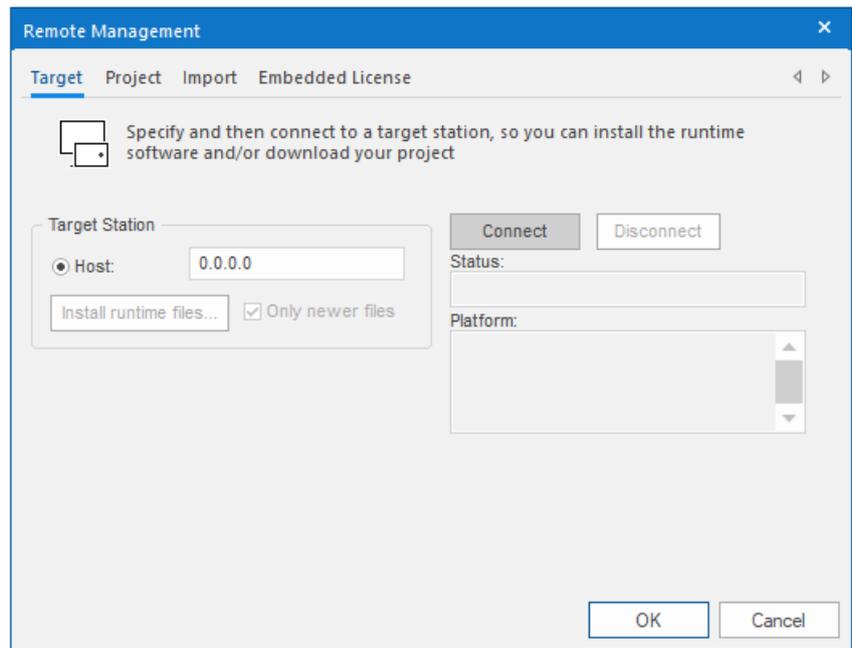
| | |
|------|---|
| 文字数 | 半角 8 文字以上、64 文字以下 |
| 文字種類 | 以下のそれぞれの文字種類を少なくとも 1 つ使用 <ul style="list-style-type: none"> ◦ アルファベットの大文字 (A ~ Z) ◦ アルファベットの小文字 (a ~ z) ◦ 数字 (0 ~ 9) ◦ 記号 (特殊文字): ! # - = _ . |

パスワードを忘れた場合、パスワードをリセットすることはできません。Edge Box HMI をご購入時の状態に戻したい場合は、弊社カスタマーケアセンターまでお問い合わせください。この場合、製品内のユーザーデータはすべて失われます。

7. **SYSTEM** タブを開きます。**Date and Time** タブで内部時計を設定し、**Submit** をクリックします。
8. **DOWNLOAD** タブを開きます。**Enable Project File Download** のチェックボックスにチェックを入れ、**Submit** をクリックします。
9. 画面右上にある **Reboot** アイコンをクリックします。Edge Box HMI が再起動されます。
10. BLUE Open Studio で、Edge Box HMI に転送したいプロジェクトファイルを開きます。
11. リボンの**ホーム**タブの**リモート管理**グループで、**接続**をクリックします。**リモート管理**ダイアログボックスが表示されます。



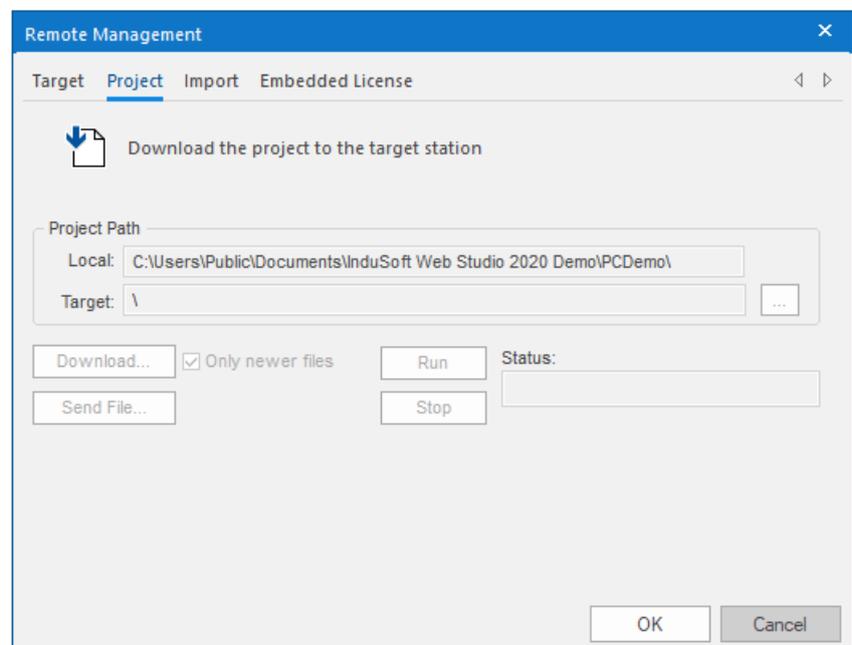
- ダイアログボックスの**対象**タブで、**ホスト**に Edge Box HMI の IP アドレス (169.254.100.100) を入力し、**接続**をクリックします。



- Remote Management** ツールが Edge Box HMI に接続し、そのステータスが表示されていることを確認したあと、**ランタイムファイルをインストール**をクリックします。

注記 : HMI Runtime のインストールには時間がかかります。

- ダイアログボックスの**プロジェクト**タブをクリックします。**ローカル**ボックスに、開発環境で現在開いているプロジェクトの場所が表示されます。これが Edge Box HMI にダウンロードされるプロジェクトです。



- ダウンロード**をクリックします。Edge Box HMI にプロジェクトがダウンロードされます。

注記 : プロジェクトダウンロード後の Edge Box HMI のステータス LED は橙色点滅のままです。

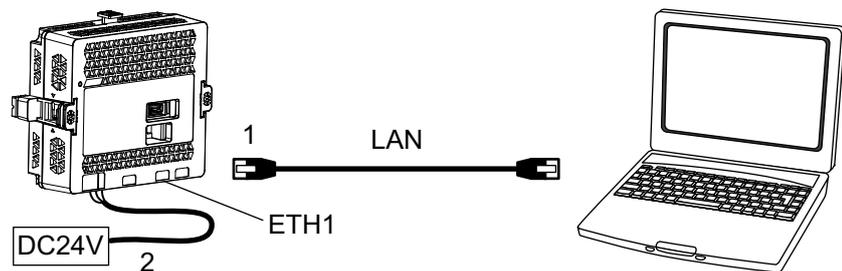
- OK** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

17. **Hardware Configuration** の **DOWNLOAD** タブを開きます。**Enable Project File Download** チェックボックスのチェックを外し、**Submit** をクリックします。
18. **Reboot** アイコンをクリックします。Edge Box HMI が再起動し、運転が開始されます。
注記：再起動後、Edge Box HMI のステータス LED は緑色点灯になります。

HMI Runtime を更新する場合を除き、次回以降のプロジェクトのダウンロード時には HMI Runtime のインストールは不要です。ダウンロード手順の詳細は、「BLUE Open Studio Technical Reference Manual (Help Manual)」の「Remote Management」-「Download your project to the target device」を参照してください。

イーサネットで転送する場合

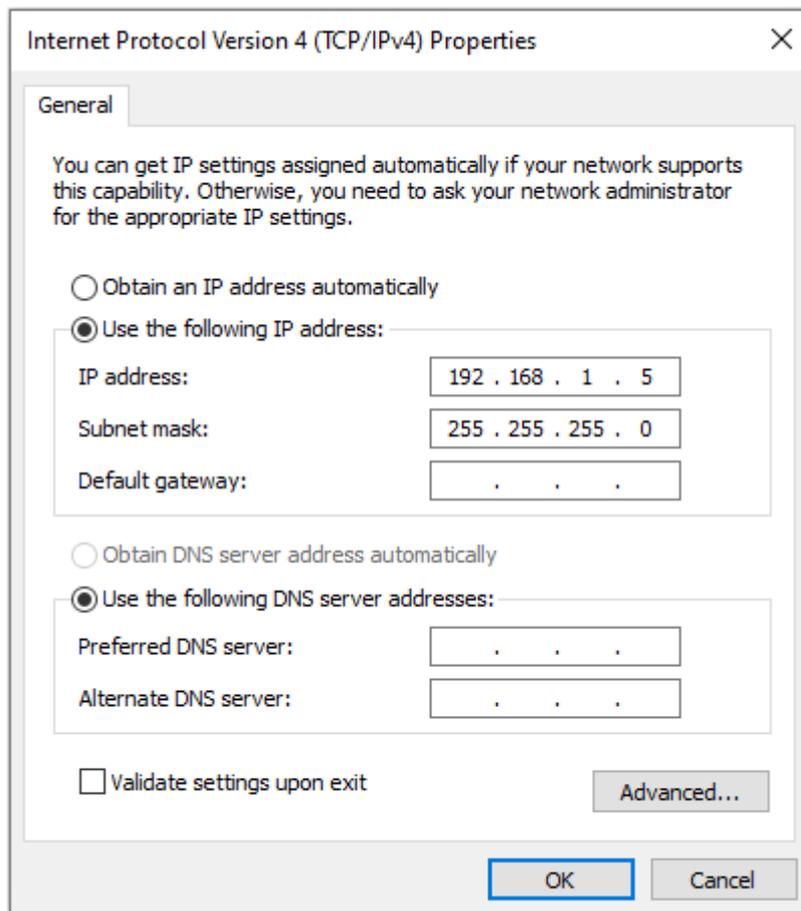
この手順は、Edge Box HMI に初めてプロジェクトを転送するユーザーを対象としています。



1. Edge Box HMI の ETH1 ポートを使用して、パソコン (開発環境) と同じネットワークに接続します。
2. Edge Box HMI の電源を入れます。ステータス LED が橙色に点滅します。

3. パソコンの IP アドレスを次のように設定します。
IP アドレス: 192.168.1.*(192.168.1.80 以外のアドレス)
サブネットマスク: 255.255.255.0

注記 : Windows 10 をご使用の場合、IP アドレスの設定方法は次のとおりです。
スタートメニューから**設定 > ネットワークとインターネット > アダプターのオプションを変更する**の順にクリックします。
使用するイーサネットを選択し、右クリックしてプロパティを選択します。**インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)** のプロパティで、**次のアドレスを使う**を選択します。



4. ブラウザーを開き、アドレスバーに Edge Box HMI の IP アドレス (https://192.168.1.80) を入力します。「この接続ではプライバシーが保護されません」のメッセージが表示されます。継続するには、**詳細設定**をクリックして、**(IP アドレス) にアクセスする**をクリックしてください。

5. **Hardware Configuration** が表示されます。ログインパスワードを設定し **Submit** をクリックします。

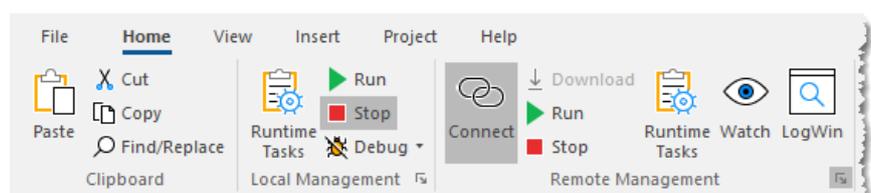
注記：

- ユーザー名は「Admins」です。変更はできません。
- パスワードは次の要件を満たす必要があります。

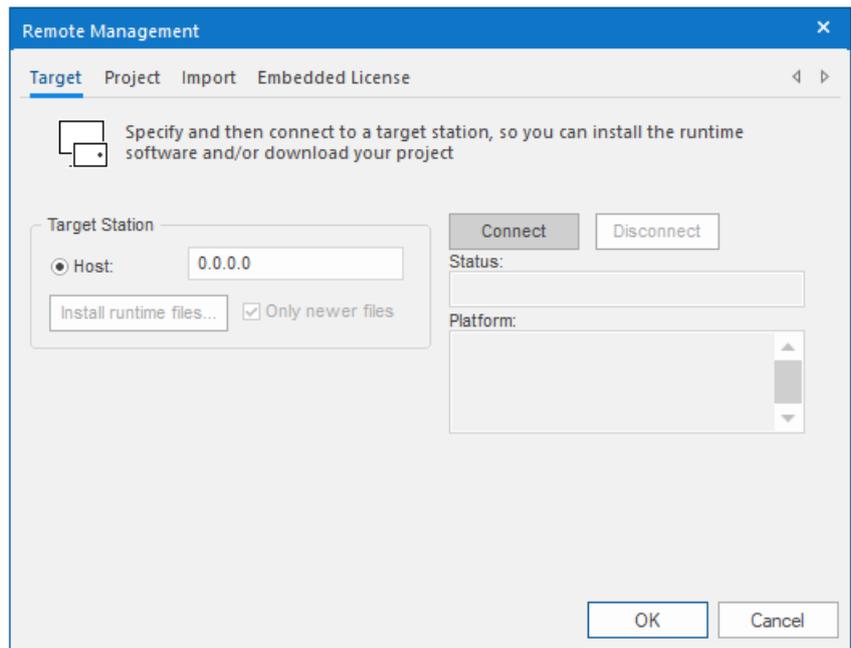
| | |
|------|---|
| 文字数 | 半角 8 文字以上、64 文字以下 |
| 文字種類 | 以下のそれぞれの文字種類を少なくとも 1 つ使用 <ul style="list-style-type: none"> ◦ アルファベットの大文字 (A ~ Z) ◦ アルファベットの小文字 (a ~ z) ◦ 数字 (0 ~ 9) ◦ 記号 (特殊文字): ! # - = _ . |

パスワードを忘れた場合、パスワードをリセットすることはできません。Edge Box HMI をご購入時の状態に戻したい場合は、弊社カスタマーケアセンターまでお問い合わせください。この場合、Edge Box HMI 内のユーザーデータはすべて失われます。

6. **SYSTEM** タブを開きます。**Date and Time** タブで内部時計を設定し、**Submit** をクリックします。
7. **DOWNLOAD** タブを開きます。**Enable Project File Download** のチェックボックスにチェックを入れ、**Submit** をクリックします。
8. 画面右上にある **Reboot** アイコンをクリックします。Edge Box HMI が再起動されます。
9. BLUE Open Studio で、Edge Box HMI に転送したいプロジェクトファイルを開きます。
10. リボンの**ホーム**タブの**リモート管理**グループで、**接続**をクリックします。**リモート管理**ダイアログボックスが表示されます。



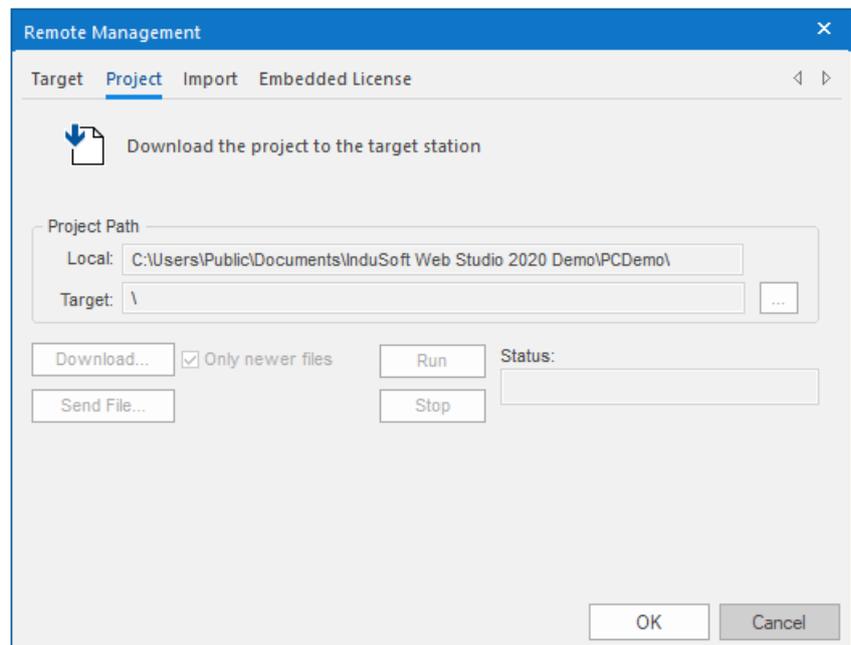
11. ダイアログボックスの**対象**タブで、**ホスト**に Edge Box HMI の IP アドレス (192.168.1.80) を入力し、**接続**をクリックします。



12. **Remote Management** ツールが Edge Box HMI に接続し、そのステータスが表示されていることを確認したあと、**ランタイムファイルをインストール**をクリックします。

注記 : HMI Runtime のインストールには時間がかかります。

13. ダイアログボックスの**プロジェクト**タブをクリックします。**ローカル**ボックスに、開発環境で現在開いているプロジェクトの場所が表示されます。これが Edge Box HMI にダウンロードされるプロジェクトです。



14. **ダウンロード**をクリックします。Edge Box HMI にプロジェクトがダウンロードされます。

注記 : プロジェクトダウンロード後の Edge Box HMI のステータス LED は橙色点滅のままです。

15. **OK** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

16. **Hardware Configuration** の **DOWNLOAD** タブを開きます。**Enable Project File Download** チェックボックスのチェックを外し、**Submit** をクリックします。
17. **Reboot** アイコンをクリックします。Edge Box HMI が再起動し、運転が開始されます。
注記：再起動後、Edge Box HMI のステータス LED は緑色点灯になります。

HMI Runtime を更新する場合を除き、次回以降のプロジェクトのダウンロード時には HMI Runtime のインストールは不要です。ダウンロード手順の詳細は、「BLUE Open Studio Technical Reference Manual (Help Manual)」の「Remote Management」-「Download your project to the target device」を参照してください。

付録

この章の内容

| | |
|--------------------|----|
| ステータス LED 表示..... | 27 |
| オプション機器一覧..... | 27 |
| プロジェクト設定時の注意 | 27 |

ステータス LED 表示

| 色 | 状態 | HMI 動作 |
|----|----|----------------------|
| 緑色 | 点灯 | 運転中 |
| 橙色 | 点滅 | ソフトウェア起動中 |
| 赤色 | 点灯 | 通電中 |
| | 点滅 | システムエラー / ランタイムエラー*1 |
| — | 消灯 | 無通電時 |

*1 Hardware Configuration の **INFORMATION** タブにある **Status** で情報を確認できません。

オプション機器一覧

HMI Runtime がインストールされた機種 of 各インターフェイスに接続できるオプション品は次のとおりです。

| 品名 | 型式 | 内容 |
|-------------------------------|---------------|---|
| シリアルインターフェイス | | |
| RS-422 コネクター端子台変換アダプター | PFXZCBADTM1 | シリアルインターフェイス (D-Sub 9 ピンプラグ) の出力を RS-422 用端子台に変換するアダプター |
| COM ポート変換アダプター | CA3-ADPCOM-01 | シリアルインターフェイスに RS-422 用通信オプションを接続するためのピンアサイン変換アダプター |
| RS-232C アイソレーションユニット | CA3-ISO232-01 | 各種ホストと本製品を絶縁して接続するためのユニット (RS-232C / RS-422 切替) |
| USB (Type A) インターフェイス | | |
| USB 前面取付けケーブル (1 m) | CA5-USBEXT-01 | USB インターフェイスを盤の前面に取り付けるための延長ケーブル |
| USB (micro-B) インターフェイス | | |
| USB 転送ケーブル | PFXZUSCBMB2 | パソコン (USB Type A) から本製品 (USB micro-B) へ画面データを転送するケーブル |
| USB (micro-B) 前面取付けケーブル | PFXZCIEXMB2 | USB インターフェイスを盤の前面に取り付けるための延長ケーブル |

プロジェクト設定時の注意

ここでは BLUE Open Studio でプロジェクトを作成する際の注意点について説明します。

対応機能

HMI Runtime で利用できる機能には制限があります。詳細は、「BLUE Open Studio Technical Reference Manual (Help Manual)」の「HMI Runtime」- 「Supported Features」を参照してください。

シリアルポート設定

シリアル通信ドライバーを使用する場合、COM 設定は SIO タイプにより異なります。

| 機種 | ポート/ SIO タイプ | 通信設定 |
|----------------------------------|-------------------|------------|
| Edge Box HMI (PFXSTM6B00DIOT) | COM1 / RS-232C | /dev/ttyS1 |
| | COM1 / RS-422/485 | /dev/ttyS2 |

ストレージデバイスにデータを保存

外部ストレージデバイスを物理ポートに接続してデータを保存する場合、データの保存場所 (パス) は次のとおりです。

| 機種 | 外部ストレージ | 保存場所 (パス) |
|----------------------------------|-----------|------------|
| Edge Box HMI (PFXSTM6B00DIOT) | USB ストレージ | /misc/usb/ |

外部ストレージデバイスは、FAT32 または FAT でフォーマット (初期化) する必要があります。ご使用のパソコンでフォーマットしてください。

シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社
大阪府大阪市中央区北浜 4-4-9 シュナイダーエレクトリック大阪ビルディング
541-0041
日本

+81 (0) 6 6208 3133

www.proface.co.jp

規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください。

© 2022 – シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社. 著作権保有

BOS-HMIRT-JA_00